

競技注意事項

1. 規則について

- ・本大会は、2015年(公財)日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項にて行う。

2. 練習場について

- ・尼崎記念公園内にて練習を行うこと。それ以外の練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分配慮すること。
- ・投擲練習は禁止する。練習は二次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。

3. 招集方法

- ・一次招集はベイコム陸上競技場北ゲート競技者係にて行うこととする。
- ・トラック種目のコール開始直前に腰ナンバーカードを配布する。
- ・腰ナンバーカードの確認後、5000m・10000m・10000mWに関しては長距離専用別ナンバーカードを配布する。
- ・選手自身がコール用紙の自分のレーンナンバーに○をつける。その際ナンバーカードのついたユニフォーム(上下)、スパイクを競技者本人が持参すること。
- ・2次コール(最終コール)は現地にて行うものとする。
- ・招集時間は下記の通りである。

	一次招集開始時刻	一次招集完了時刻	二次招集時刻
トラック種目	競技開始50分前	競技開始30分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始60分前	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始90分前	競技開始70分前	競技開始60分前

※ 上記の時刻はタイムテーブルを基準とする。

- ・リレーの招集は、競技者4人とも受けること。(ただし、他の競技に出場している選手に関しては、重複届けを提出している場合のみ代理を認める。)
- ・リレーのオーダー用紙は、一次招集開始60分前までに競技者係へ提出すること。リレーオーダー提出後の選手変更は原則認めない。
- ・同一時間に2種目以上出場する競技者および競技中のため他のエントリー種目の一次招集を受けられない競技者は、終了完了時刻までに重複出場届を競技者係提出すること。
- ・重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が一次招集を受けなければならない。その際『重複出場届』を持参すること。
- ・リレーのオーダー用紙・重複出場届・当日棄権届は競技者係にて受け取ること。

4. 棄権について

- ・事前棄権することが決まった者は、大会前日の17時00分までに関西学連事務所(06-6442-8771)に事前棄権用紙に記入しFAXを送信すること。
- ・当日棄権は原則として認めない。やむを得ず棄権をする場合は、棄権者届けを競技者係にて配布するので、その用紙に必要事項を記入し大会本部の総務に提出して承認を得ること。その後、総務より棄権者届の下半分を受け取り、一次招集完了時間までに、競技者係に提出すること。
- ・招集(一次招集・二次招集)に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

5. 競技者の服装について

- ・ナンバーカードは平成27年度学連登録のナンバーカードを必ず胸、背部にしっかりつけること。ただし、跳躍種目については胸部または背部だけでよい。
- ・トラック種目については腰ナンバーカードを競技者係で受け取り、右腰につけること(1500m以上は両腰につけること)。
- ・リレー競技に限らず同一大学は同一のユニフォームを着用すること。セパレートユニフォームを使用する場合も、色・デザインは統一させておくこと。
- ・競技場は全天候舗装であるので、使用するスパイクのピンの長さは、トラック・フィールド共に9mm以下とする。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。

6. 競技について

- ・トラック種目において人数の都合上1レーンに2人の選手が走る場合がある。
- ・トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順の上から下とする。
- ・競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器をトラック及びフィールド内に持ち込めない。
- ・競技中の選手に対する助言は2015年(公財)日本陸上競技連盟規則に従う。また、フィールド競技に関しては現場の審判員がトラック競技の進行に注意しながら許可を与えた上でコーチ席に助言を聞きに行くことができる。ただしコーチ席以外での助言行為は禁ずることとする。審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。

7. 競技用器具について

- ・使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用する。
- ・やりは、検定を受け承認されたもののみ使用できる。やりの受付は、競技開始90分前にゴール前用器具庫内で行い、60分前に締め切る。
- ・棒高跳用ポールは私物使用を認める。また、当日以外の持込みは認めない。
- ・棒高跳用ポールは各大学で責任を持って管理すること。ポールの管理に関して弊連盟は一切責任を負わない。
- ・棒高跳用ポールの輸送については、各大学の責任で行うこととする。
- ・競技場の器具を破損した場合は、当該者の所属団体より必要代金を徴収する。

8. トラック競技について

- ・トラック競技の計時は写真判定(1/100秒)とする。但し、装置の故障等のトラブルが生じた場合、手動計時(1/10秒)とする。

9. 不正スタートについて

- ・不正スタートを行った競技者はすべて失格とする。
- ・不正スタート発見装置は使用せず、目視で判定する。
- ・不正スタートの判定に対する参考材料として、ビデオ撮影を行うことがある。

10. フィールド競技について

- ・走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のように行う。

種 目		1	2	3	~	6	7	8	備 考
走高跳	男子 (インカ)	1m60	1m65	1m70	~	1m85	1m90	1m93	1m90以後 3cm 刻み
	女子 (インカ)	1m35	1m40	1m45	~	1m60	1m65	1m68	1m65以後 3cm 刻み
棒高跳	男子 (オープン)	4m70	4m90	5m10	~	5m40	5m50	5m60	5m10以後 10cm 刻み
	女子 (オープン)	2m20	2m40	2m60	~	3m20	3m40	3m50	3m40以後 10cm 刻み

- ・三段跳の踏み切りの位置については、男子は13m、女子は10mとする。
- ・投擲種目の公式練習は、2投までとする。ただし、ハンマー投は1投とする。

11. 得点について

- ・男子全種目(オープン種目を除く)について、下記の通り得点を加算する。

順 位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
-----	----	----	----	----	----	----

1 2. 抗議の申し立てについて（規則第146条）

- ・競技進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または順位に関する抗議の申し立ては、結果が正式に発表（アナウンス）されてから決勝の場合は30分以内、次のラウンドが行われる競技では15分以内に、本人もしくは監督から口頭で審判長に申し出なくてはならない。

1 3. 開閉会式・表彰について

- ・開閉会式は、全選手フィールド内に部旗を先頭に10分前に集合、整列すること。また、その際芝生に入らないようにすること。
- ・第3位までに入賞した選手は、大会本部まで賞状を取りに来ること。

1 4. 競技場使用の注意

- ・開門は午前8時30分、閉門は閉会式終了の15分後とする。
- ・横断幕・のぼりはスタンドのみ認める。通用路を塞ぐことの無いよう注意すること。また、テープ類は使用せず、競技終了後すみやかに外すこと。
- ・ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること。
- ・競技場に入場する際は全天候走路の保護のため、トレーニングシューズまたはスニーカーを履いて入場すること。それ以外を使用している者について、発見次第、競技場入場を禁止する。
- ・学生補助員・学生審判員についても同様であり、十分に注意すること。

1 5. その他

- ・本大会参加校は定められた人数の学生審判及び学生補助員を派遣しなければならない。学生審判員は審判バッジ及び胸章が付いたブレザーまたは学生服を着用し、配布するバッジを胸に付けること。学生補助員はクラブ指定のジャージの着用を認める。派遣しなかった場合、または、その業務を果たさなかった場合はその大学の以後の出場を中止させる。
- ・フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用后必ず撤去し持ち帰ること。
- ・記録は北ゲート・中央ゲート間記録掲示板に掲示する。
- ・競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- ・競技中の負傷については、応急処置は主催者が行うが、その後の治療費は本人負担とする。ただし、2015年(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- ・注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その当該者の所属する大学の以後の競技を中止させ、処罰を与える。
- ・荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- ・車での来場はできるだけ控え、公共交通機関を利用し来場すること。
- ・競技場内は喫煙禁止とする。
- ・芝生内は競技時以外立入禁止とする。
- ・トラック及びフィールド内、また招集場所での携帯電話・音楽再生機器・無線機などの電子機器の持ち込み・使用を禁止する。
- ・スタンド以外での飲食は禁止とする。